



一般財団法人チェンバロ振興財団クープラン

The Couperin Foundation for Growth and Preservation of the Harpsichord

2024年度助成実績

【申請1】

1. 申請者: 吾妻優子(チェンバロ奏者)
2. 企画名称: 吾妻優子 チェンバロ・リサイタル
3. 日時: 2024年6月25日(火) 19:00
4. 会場: 横浜市鶴見区民ホール文化センター サルビアホール
5. 企画目的: チェンバロに出会って10数年振り。新規一転を図り本格的に臨むリサイタル。G.F.ヘンデル、J.S.バッハ、J.B.deボワモルティエ、J.-Ph.ラモという、同時代に異なる地域で活動した音楽家を並べ、共通点、相違点等を浮き彫りにする。

【申請2】

1. 申請者: 中村恵美(チェンバロ奏者)
 2. 企画名称: コンセールによるクラヴサン曲集 –ジャン＝フィリップ・ラモー
 3. 日時: 2024年7月21日(日) 17:00
 4. 会場: 番町教会
 5. 企画目的: 「フランス・バロック・アンサンブルの集大成」と捉えられる本曲集を通して、自らの目指す「自然な美しさ」を追求し、その成果を公けにしたい。
-

【申請3】

1. 申請者: 石川友香理(チェンバロ奏者)
 2. 企画名称: 古楽トリオ「風花に小鳥たちは春を夢見る」演奏会
 3. 日時: 2024年12月7日(土曜日)19:00 -、12月26日(木曜日)18:30-
 4. 会場: 宮城県・加美町「コンツェルトハウス」、東京都・文京区「同仁キリスト教会」
 5. 企画目的: リコーダー、バロックファゴット、チェンバロの室内楽編成で、1700年以前のフランス・バロックを主軸にしたプログラムを組む。古楽愛好家の裾野を広げることを目指し、コンセプトを重視してプログラムを組むことで、幅広い層に興味関心を持たせることを意識した。その際小品、表題楽、編曲等を組み合わせた。
-

【申請4】

1. 申請者: クラヴィヤージュ(代表者 花岡聖子)
 2. 企画名称: バッハxコーヒー=カンタータ?
 3. 日時: 2025年2月2日(日曜日)午前、午後
 4. 会場: 宮崎県庁5号館
 5. 企画目的: 一か月後に宮崎県立芸術劇場で演奏されるJ.S.Bach の《コーヒー・カンタータ》を念頭に、チェンバロ、オルガン等の鍵盤楽器を視覚、聴覚、触覚、嗅覚で体感していただく工夫を凝らした。宮崎で長年開催されている『オルガン・チェンバロ講習会』で体験した感動を、更に多くの方々に広めるよう努めている。
-

【申請5】

1. 申請者: 平井み帆(チェンバロ奏者)
 2. 企画名称: ヴィヴァルディ室内協奏曲 富山公演
 3. 日時: 2025年4月26日(土曜日)14:00 -
 4. 会場: 日本キリスト教会富山鹿島町教会
 5. 企画目的: 富山には既に古楽愛好家があり、チェンバロや古楽はある程度認知されている感がある。しかし更なる広がりを求め、質の高い古楽演奏を聴いていただく機会、演奏内容を模索している。その目的のために、今回ヴィヴァルディの室内協奏曲、特にファゴットが活躍する作品を選曲したが、コンサート後の会話から確かな手ごたえを得ることができた。
-

【申請6】

1. 申請者: アレクサンダー・グリヒトリク(チェンバロ奏者)
 2. 企画名称: Generations from Bach to Mozart
 3. 日時: 2024年9月25日(木曜日)- 27日(土曜日)録音、CDリリース2025年4月末
 4. 会場: Forschungsbibliothek, Gotha, Germany
 5. 企画目的: W.F.Bach、C.P.E.Bach、J.C.Bach、W.A.Mozart の2台チェンバロのための作品を取り上げる。チェンバロの終焉からフォルテピアノの台頭期における、チェンバロの在り方を模索する。
-

【申請7】

1. 申請者: 加久間朋子(チェンバロ奏者)
 2. 企画名称: チェンバロの日! 2025 in 浜離宮
 3. 日時: 2025年5月5日(月・祝)
 4. 会場: 浜離宮朝日ホール 音楽ホール
 5. 企画目的:「チェンバロの日!」は日本チェンバロ協会の年一度の重要な主催イベントである。チェンバロ奏者に研鑽の場、愛好家や一般の来場者にチェンバロ音楽に触れる機会を提供し、チェンバロの更なる普及を目指す。若い奏者から老練の奏者まで、様々な立場、経験等を踏まえて取り組むコンサートをお楽しみいただく。
-

【申請8】

1. 申請者: 奥山杏奈(チェンバロ奏者)
 2. 企画名称: チェンバロを味わうアウトリーチ(出前授業)
 3. 日時: 2024年12月5日(木)、2025年5月29日(木)、5月30日(金)
 4. 会場: 和歌山市立八幡台小学校、新宮市立王子ヶ浜小学校、新宮市立神倉小学校
 5. 企画目的: 和歌山県の子どもたちにチェンバロという楽器の魅力を伝え、実際に触れさせる。自身の演奏、子どもたちへの資料提供、授業スライド作成、メディア取材対応、実施当日、事後フォロー等の分析を通し、チェンバロを巡る現状を実感し、今後の継続的な活動の必要性と方向性を把握した。
-

【申請9】

1. 申請者: 栗形亜樹子(チェンバロ奏者)
 2. 企画名称: フランソワ・クープラン《クラヴサン曲集》全4巻録音・演奏と解説
 3. 日時: 2025年1月、4月、9月以降(予定)
 4. 会場: 横浜市栄区リリオホール、松本市音楽文化会館、スタジオ・ピオティータ
 5. 企画目的: クープランの楽譜に関する新情報を反映させた新全集校訂版の出版、最近のクープラン研究に関する、大規模な展開を反映させた演奏を目指す。目下第1巻編集、マスタリング、配信準備、第2巻全曲録音完了。
-

【申請10】

1. 申請者: 伊東茉帆(チェンバロ奏者)
 2. 企画名称: ジャン＝フィリップ・ラモー コンセール形式によるクラヴサン曲集 第1、5番を通して19世紀後半のラモー像に迫る
 3. 日時: 2025年5月31日(土) 13:30、17:30
 4. 会場: 今井聖書館講堂
 5. 企画目的: 2025年3月に公表された自身の博士論文「『ラモー全集』の《コンセール形式によるクラヴサン曲集》におけるサンサーンスの編纂方針とその理念」に合わせて、研究内容と演奏実践を発表。同曲集中の第1、5番を例としてピリオド楽器とモダン楽器を用いて各々2回演奏し、サン＝サーンスが求めた音楽像に迫る。
-

【申請11】

1. 申請者: イ・フィラトリー・ディ・ムジカ(代表者 曾根田 駿(チェンバロ奏者))
2. 企画名称: 太陽王の残光～ヴェルサイユ宮殿で聴かれた音色～
3. 日時: 2025年5月31日(土) 19:00
4. 会場: 日本ホーリネス教団東京中央教会
5. 企画目的: フランスの中規模な室内楽の多様さと奥深さを感じていただく。まず形式、書法、様式の面から追求。更に当時の楽器編成の自由さを生かし、一つの作品の様々な側面を楽しみつつ興味を広げていただけるよう、仕掛けを施している。